第二次スクリーニングのまとめ

地点番号	第一次スクリーニング										第二次スクリーニング計画																						第二次スクリーニング			
	盛土造成地の位置	盛土造成地の規模				大規模盛土造成地の抽出					優先度評価																				その他				土質・地下水調査		安定計算	
											①盛土／擁壁の形状・構造						②変状					③地下水	④盛土の下の不安定土層	⑤造成年代		⑥変動確率					保全対象			想定被害形態			地震時安全率	
	所在地	面積（m^2）	原地盤面の勾配（度）		高さ（m）	谷埋め型	腹付け型	現地での確認		大規模盛土造成地の種類	のり面勾配	小段間隔	保護工	ひな壇部分の傾斜	擁壁構造		宅地地盤	擁壁	のり面	周辺施設				造成年代		方式1による変動確率（%）		特記事項	優先度	住宅	公共施設等	既存調査結果（土質・地下水・N値等）		調査ボーリングデータナンバー	最高地下水位（GL-m）	全体すべり	ひな壇部分のすべり（最小値）
			α	θ		面積3000m^2以上	原地盤面の勾配20度以上かつ高さ5m以上	必要性	結果																													
1	布喜川01	6,250	6	－	10	○	×	不要	－	谷埋め型	標準	標準	標準	標準	もたれ	該当	補修痕有	ズレ（小）亀裂	無	無	無	有	無	S54~S62	後	65.0 数量化Ⅱ類	大	本盛土は盛土の安定を目的に平成17年に地盤改良工事が実施されているが、今回の現地踏査にて擁壁に亀裂やズレが確認された。地元住民からのヒアリングによると、これらの変状は平成17年の地盤改良工事後に発生したとのことである。擁壁の亀裂やズレの進行度を確認するため、本業務で観測鋲を設置した。観測鋲は2回/年程度の観測を実施し、亀裂やズレの拡大が認められた場合は、速やかに対策工実施を検討されたい。	A4	23戸	無	盛土材 礫質土/粘性土	崩壊	FK01-No.1	2.50	1.307	1.348
2	布喜川02	10,000	12	－	47	○	×	不要	－	谷埋め型	標準	標準	標準	標準	もたれ	該当	補修痕有	ズレ（大）隙間	無	無	有	可能性有	無	S51~S61	後	25.1 数量化Ⅱ類	小	末端部の擁壁の継ぎ目に4cm程度の隙間と、神社下方階段にズレが確認されており盛土が安定していない可能性があることとから、擁壁の崩壊等の被害が発生する可能性がある。	A4	10戸	無	無	崩壊	FK02-No.1 FK02-No.2 FK02-No.3	3.61 6.23 0.98	0.993	0.898
3	八代01	19,450	6	－	41	○	×	不要	－	谷埋め型	標準	標準	標準	標準	もたれ	該当	無	ズレ（小）	無	無	無	可能性有	無	S41~S50	後	20.7 数量化Ⅱ類	小	軽微な擁壁のズレと湧水痕が確認されたが、直ちに変形等の危険性はなく、第二次スクリーニングの優先度は低い。	B2	73戸	無	無	変形	YS01-No.1 YS01-No.2 YS01-No.3	9.91 13.59 11.73	1.237	1.137
4	八代02	4,500	11	－	29	○	×	不要	－	谷埋め型	標準	標準	標準	標準	もたれ	該当	補修痕有	亀裂（大）	無	無	有	可能性有	無	S41~S50	後	33.5 数量化Ⅱ類	小	末端部の擁壁に大きな亀裂と恒常的湧水が確認され、擁壁の崩壊等の被害が発生する可能性がある。	A4	12戸	無	無	崩壊	YS02-No.1 YS02-No.2	0.94 0.45	1.337	1.517